

プロジェクト編集画面では、リボン直下の「かんたん操作フロー」バーがこの①～④を誘導します（完了ステップに✓・現在ステップのタブが点滅→ハイライト）。画面右上の「かんたん操作フロー」ボタンで表示ON/OFFを切り替えでき、設定は保存されます。

①

物件設定 必須

1. 建物概要の**階数**（**基礎・地中梁がある場合はチェックを忘れずに**）と**GL** / 2. **階設定**（階数入力後「階設定に反映」で階リスト作成） / 3. **使用する鉄筋**。画面上の濃い太枠が必須項目です。

②

通り芯設定

「基本通り芯」で X通り・Y通りの名称とスパン(mm)を設定し、**[通り芯更新]**で確定します。

③

各部材配置・構造リスト

基礎・地中梁の**階高を持たない仮想階**があります。基礎を配置すると上階の柱脚が自動的に基礎・地中梁階まで伸びます。礎柱の場合は、基礎・地中梁階にて礎柱を「柱」で入力してください。既製品の鉄骨柱脚がある場合は、鉄骨柱脚の入力からメーカーの設計例を参照し礎柱を入力できます。

各部材の**入力方法は3パターン**：

- (1) 符号のみ入力して配置する**仮配置入力**（仮配置マークを右クリック→編集コマンドでリスト化できます）
- (2) **[リスト入力]ボタン**からの詳細入力 + 配置
- (3) **構造リスト**でリスト入力後、各部材配置で符号を選択して配置

柱は「部材パネル」の○F～○F選択で他階へも仮配置されます。壁・スラブはプロトタイプ版です。

④

検証

「検証」タブの**入力チェック**で、配筋や積算を行う前の入力漏れをチェックできます。

[ビュー／配筋]に関する設定

- 物件設定：2. 階設定の Fc / 3. 使用する鉄筋 / 4. コンクリート
- 配筋基準設定（初期値：日建連標準2019）を変更したい場合は「配筋基準」タブ
- 施工設定
- 構造リスト（鉄筋情報の登録必須）

その他のコマンド

各コマンドの操作説明をご覧ください。画面右上の「ガイド」（ウォークスルーツアー）と「操作画面」（操作アニメーション集）でも操作方法を確認できます。

※ どのタイミングでも**[配筋]** **[積算]** **[IFC等への出力]**が可能です。入力や設定された情報に基づきます。

※ 主筋のWクリックで配筋情報を確認できます。